

MAD

Making Art Different 2014

美味しいアートの学び方—111のレクチャーから、自由にアレンジ。



MAD2011 レクチャー—

秋元雄史(金沢21世紀美術館館長)／井上文雄(CAMP)／今福龍太(東京外国語大学大学院教授)／逢坂恵理子(横浜美術館館長)／長内綾子(Survivart共同設立者／コーディネーター)／金島隆弘(アートフェア東京エグゼクティブ・ディレクター)／兼松芽永(一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程)／小泉明郎(美術家)／イーデン・コーキル(ジャパントイズ編集局学芸部長)／小山登美夫(小山登美夫ギャラリー代表)／ヴィヴィアン佐藤(非建築家／美術家／ドラッグクイーン)／沢山遼(美術批評家)／塩見有子(AIT)／住友文彦(AIT)／竹内万里子(写真批評家／京都造形芸術大学准教授)／崔敬華(フリーランス・キュレーター)／辻憲行(芸術係数)／都築響一(編集者)／永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)／南條史生(森美術館館長)／西山裕子(ナンジョウアソシエイツ)／保坂健二郎(東京国立近代美術館研究員)／堀内奈穂子(AIT)／アンドリュー・マークル(アートライター／編集者)／光岡寿郎(早稲田大学演劇博物館研究助手)／毛利嘉孝(東京藝術大学准教授)／森弘治(美術家)／柳下朋子(日本経済新聞社)／山川冬樹(ホーメイ歌手／美術家)／吉崎和彦(東京都現代美術館学芸員)／吉野誠一(アート・コレクター)／吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)／ローゼン美沙子(MISAKO & ROSEN オーナー・ディレクター)／モーリー・ロバートソン(ミュージシャン)

プログラム・ディレクター

ロジャー・マクドナルド(AIT):1971年生まれ。ケント大学にて宗教学修士課程修了後、美術理論にて博士号を取得。MADでは多数のレクチャーを担当。2006年の第一回「シンガポール・ビエンナーレ」キュレーター。女子美術大学非常勤講師、明治大学非常勤講師。
小澤慶介(AIT):1971年生まれ。ロンドン大学ゴールドスミスカレッジにて現代美術理論修士課程修了。MADではカリキュラム編成をしながらレクチャーも行う。アートフェア東京アソシエイト・ディレクター、女子美術大学非常勤講師。

11年目を迎える現代アートの学校MAD (Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう) は、興味のあるレクチャーを自由に選んで受講できるようになりました。

2011年4月から2012年3月までの1年をとおして、全9つのカテゴリ、111コマのレクチャーを開講。

目的や関心に合わせて自由にレクチャーを選びながら、自分のスタイルで現代アートにアプローチすることができます。

5コマから、10コマ、25コマ、50コマ、75コマ、そして111コマまで、クーポンを購入することで実現できる現代アートの新しい学び。

キュレーターになりたい、現代アートをとおして教養を身につけたい、海外に留学する前に専門用語や考え方に触れておきたい、自分の力を試してみたい、語れる仲間がほしい。

みなさんに合った学びをとおして、今まで知らなかったアートがきっと見えてくるでしょう。レクチャーは、主にAITルーム(代官山)で行われます。

展覧会を企画するために キュレーティング

アーティストと一緒に展覧会を作りたいと考えている方に向けて、キュレーティングの歴史や実践を支える理論について、具体例をとおして考えます。

レクチャー数:15

- ☐ キュレーティングとは?
- ☐ 展覧会をとおして考える20世紀の美術史
- ☐ 1960年代以降のキュレーティングの挑戦
- ☐ 1990年代以降の拡張するキュレーティング
- ☐ 2010年代の美術館を考える
- ☐ 社会空間の読み方とキュレーティング
- ☐ アーティストがキュレーティングする
- ☐ 秘密と記号—日常におけるキュレーティングの実践
- ☐ 新しい美術館の戦略とキュレーティングの変化
- ☐ 地域創造とアートの関係性
- ☐ 大地の芸術祭と地域の創造
- ☐ 横浜トリエンナーレと地域創造事業の可能性を考える
- ☐ 多義化する国際展
- ☐ アーカイヴとキュレーティングの現在
- ☐ 知の生産と展覧会

アートの基礎を学ぶ ベーシック

現代アート初心者の方にお勧め。19世紀には絵画や彫刻のみだった芸術が、20世紀に入って写真や映像、インスタレーションなどへと枠組みを広げながら変容していった軌跡を追います。

レクチャー数:15

- ☐ 彫刻の変容とモダニズム
- ☐ 1820年代のロマン主義から、1890年代の印象派までの絵画史
- ☐ キュビズムから抽象へ向かう、20世紀前半の絵画史
- ☐ 「絵画の終わり」以降の絵画を考える
- ☐ もう一つの近代美術史—ジェンダーの視点から
- ☐ 写真術の到来と「見ること」の変化
- ☐ イメージの政治学と写真の可能性
- ☐ インスタレーションと身体性の拡張
- ☐ 映像の誕生から見る20世紀
- ☐ 1990年代以降の映像作品と視覚文化
- ☐ パフォーマンスと制度空間の関係性
- ☐ 作品とは何か?—関係性の美学から考える
- ☐ 関係性の美学と政治的なもの
- ☐ 女性、同性愛者の声と現代アート
- ☐ 公共性とアートの実践

カラダでアートを考える ワークショップ

現代アートを実践してみたいという方は、身体を動かしたり、声を出したり、文章を読んだり書いたりしながら、カラダでアートを考えるワークショップに参加しましょう。

ワークショップ数:14

- ☐ 身体で映像をキメるために
- ☐ 声と身体の可能性とコミュニケーション
- ☐ 展覧会批評の書き方I
- ☐ 展覧会批評の書き方II
- ☐ 展覧会批評の書き方III
- ☐ 展覧会批評の書き方IV
- ☐ ハラルド・ゼーマン「態度が形になるとき」展序文を読む
- ☐ ジョン・ケージ「実験的音楽」から、ラウシェンバーグを考える
- ☐ イメージを考える—第8回光州ビエンナーレ考I
- ☐ イメージを考える—第8回光州ビエンナーレ考II
- ☐ ジョルジュ・バタイユ「不定形」を考える
- ☐ 非-知と現代アートについて
- ☐ 日本における公共性を考えるI
- ☐ 日本における公共性を考えるII

自立したアーティストを目指す アーティスト

作品を制作している方向き。アート界の仕組みや作品が設置される空間に対する考え方など、幅広い知識や考え方をプロのアーティストとキュレーターを交えて議論しながら身につけます。

レクチャー数:8

- ☐ アート界に参入するとは
- ☐ 素材と表現と目的の関係式を考える
- ☐ 2000年代の「アート」の語り方／語られ方
- ☐ 「アート」の種を見つけるワークショップ
- ☐ 人と作品と空間の関係式について考える
- ☐ 「現代」を切り取るワークショップ
- ☐ 「アート」を上手に使う技術
- ☐ アーティストとしての戦略を考える

世界の「いま」をつまみ食い アート・ナッツ

アートシーンで何が起きているかを知りたい方に。ゴシップから話題の議論まで、国内ではほとんど取り上げられない記事を、インターネットや海外の雑誌から紹介します。

レクチャー数:12

- ☐ アート・ナッツI
- ☐ アート・ナッツII
- ☐ アート・ナッツIII
- ☐ アート・ナッツIV
- ☐ アート・ナッツV
- ☐ アート・ナッツVI
- ☐ アート・ナッツVII
- ☐ アート・ナッツVIII
- ☐ アート・ナッツIX
- ☐ アート・ナッツX
- ☐ アート・ナッツXI
- ☐ アート・ナッツXII

*新鮮なニュースを取り上げるため、内容はレクチャー時に発表されます。

現場で語り合う ピクニック

ふだんは入ることができない特別な場で行われている展覧会に行ったり、キュレーターやアーティストの声を直接聞くことができます。コース・ディレクターや仲間と、作品や展覧会のコンセプトなどについて話し合いたい方へ。

開催数:6

- ☐ ピクニックI
- ☐ ピクニックII
- ☐ ピクニックIII
- ☐ ピクニックIV
- ☐ ピクニックV
- ☐ ピクニックVI

*訪問先は、開催2ヶ月前にホームページで発表されます。

プレゼンテーション力を身につける フォーラム

企画したキュレーティング案や、アーティストが自分の作品について発表することができます。自分の関心を他の受講生と共有して、仲間をつくりましょう。

開催数:6

- ☐ フォーラムI
- ☐ フォーラムII
- ☐ フォーラムIII
- ☐ フォーラムIV
- ☐ フォーラムV
- ☐ フォーラムVI

*内容は、開催2ヶ月前にホームページで発表されます。

プログラム・ディレクターがおすすめするレクチャーの選び方

展覧会をつくりたい、という方へ

アイデアと知識を得るために、「キュレーティング」のレクチャーをすべて受講したいところ。展覧会作りを試みる方は「ベーシック」や「インダストリー」で知識の補強を、実験的で新しい形を求める方は「アート／ノン・アート」がお勧めです。50コマ以上のクーポンで、理論と実践をバランスよく学ぶことができます。

現代アートをもっと知りたい、という方へ

「ベーシック」のレクチャーをすべて受講すると、およそ過去2世紀のアートの流れを学ぶことができます。同時に、今起きていることを知るために「インダストリー」や「アート・ナッツ」を受講、「ピクニック」でアートの現場に触れましょう。25コマ以上のクーポンで、自分なりに現代アートを語れるように。

アーティストやキュレーター、ギャラリストと 仕事をしたい、という方へ

「インダストリー」のレクチャーを中心に、「ベーシック」や「アート／ノン・アート」のレクチャー、「ワークショップ」などで、現代アートの基本的な考え方や専門用語を身につけることをお勧めします。25コマ以上のクーポンでアート界がより近くに感じられるようになるはず。

作品をつくった“後”について考えたい方へ

「アーティスト」のレクチャーで、自分の作品を客観的に分析して語る力をつけることをお勧めします。また、「インダストリー」でアート界を多角的に知り、「アート／ノン・アート」で作品制作のヒントを見つけると視野が広がります。発表経験のない方は、「アーティスト」を含め、25コマ以上のクーポンで、進むべき道が見えるでしょう。

作品づくりや美術理論を学びに 海外へ行きたい、という方へ

「インダストリー」には、留学に関するレクチャーがあります。また、留学までに最低限身につけておきたい基礎知識は「ベーシック」、専門知識については「キュレーティング」や「アート／ノン・アート」、英語の専門用語を「アート・ナッツ」で身につけるのも手です。10コマ以上のクーポンをお勧めします。

受講にあたって

2011年2月9日より申し込み受付開始!

申し込みとともに以下6種類のクーポンのいずれかを購入していただきます。

シュプレマティスト	[111コマすべて受講可]	¥294,000(税込)
フューチャリスト	[75コマまで受講可]	¥236,250(税込)
エクスプレッショニスト	[50コマまで受講可]	¥168,000(税込)
リアリスト	[25コマまで受講可]	¥89,250(税込)
インプレッショニスト	[10コマまで受講可]	¥37,800(税込)
ミニマリスト	[5コマまで受講可]	¥19,950(税込)

★2011年3月31日までに申し込みいただくと、クーポンが10%割引になります。

[申し込み方法] AITのホームページ (<http://www.a-i-t.net>) にて、MAD2011の概要をご確認の上、申し込みフォームに必要事項を記入し、送信してください。お振り込みや受講についてのご案内メールをお送りします。

☆受講資格は、特にありません。☆レクチャーは予約制です。ご予約の流れは、申し込み後にご案内します。☆AITルームでのレクチャーの定員は各回40名です。定員に達すると受講できない場合があります。☆掲載情報は、2010年12月現在のものです。レクチャーやレクチャラーは変更される場合がありますが、事前に告知されます。☆原則として、申し込み完了後のキャンセル・返金は受け付けません。☆クーポンの有効期間は、2011年4月-2012年3月の1年間です。☆開講前および開講期間中にMAD2011無料説明会「MAD Jam」を不定期に開催します。☆レクチャーの内容や日時および「MAD Jam」の詳細は、ホームページをご覧ください。☆2011年4月1日以降は、随時申し込みを受け付けています。☆[ピクニック]で訪問する美術館の入場料は、受講生の負担になります。

NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ [AIT/エイト]

〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-8 ツインビル代官山B403

Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266 E-mail: office@a-i-t.net

<http://www.a-i-t.net>